

第4回理事会報告

1月23日(木)第4回理事会が開催されました。議長にコープさっぽろ吉田理事が選出され、冒頭、会長あいさつを受け、議事に入りました。議決事項では、①2019年台風19号被害緊急支援募金の対応の件—11月10日20万円を送金—、②2020年度業務委託契約の件—税務経理、法律関係他、③役員補充選任の件—会員推薦区分1名—、④2020年度道連総会開催及び予定議案の件—日程:2020年6月18日(木)13時~15時(予定) 場所:ポールスター札幌—⑤2020年度道連会費の件、⑥2020年度スケジュールの件、⑦適格消費者団体ホクネットへの特別寄付金対応の件、⑧「成年被後見人法」成立に伴う生協法及び同法施行規則の改正に伴う役員選任規約改正の件、⑨2020NPT再検討会議への生協派遣団に伴う同行責任者の渡航費用支援の件、⑩次回理事会運営の件—5月9日(木)について、提案され了承されました。審議事項では、①2019年度のまとめ

と2020年度活動計画及び予算の件(素案)②協同組合ネット北海道の取り組み経過と今後の活動について③2020年度福祉問題を総合的に考える委員会及びこども食堂北海道ネットワーク活動推進の方向性について④LPガス問題の取り組みの到達点と今後の取り組み方向について、協議がなされました。

報告事項では、①一般活動経過報告、②2019年度第3四半期決算速報、③2019年度上期監事監査報告、④日本生協連2019年台風19号被害緊急支援募金報告、⑤10月17日(木)29日(火)北海道奨学金NWの道議会要請、⑥11月5日北海道経済産業局主催北海道地域灯油問題懇談会報告、⑦北海道GM条例へのパブコメ提出の件、⑧ヒバクシャ国際署名の取り組み⑨日生協北海道・東北地連⑩北海道他、友好団体他の報告が確認されました。

協同組合ネット北海道(準備会)代表者会議開催報告

1月23日、ポールスター札幌にて協同組合ネット北海道(準備会)代表者会議が14団体の役員が参加のもと開催されました。道連理事の方にもオブザーバーとしてご参加頂きました。

2020年3月2日(月)に設立総会を控え、参加予定の協同組合の代表者と事務局にお集まりいただき、経過と取り組み計画を報告し、交流を図りました。冒頭JA中央会飛田会長の開会あいさつのもと、事務局より、

経過報告・規約・体制・取り組みテーマと活動についての報告があり、確認されました。閉会挨拶は北海道生協連麻田会長が行いました。その後、参加者による懇親では、ホクレン内田会長の乾杯のあと、JCA(日本協同組合連携機構)文殊研究員やソーシャルビジネス推進センター相内理事長から、協同組合ネット北海道に対する期待のお言葉をいただくとともに、其々の近況や問題意識などの交流が図られました。



飛田会長



ホクレン 内田会長



文殊様

原爆パネル展＋ジョーオダネル写真展が開催されました

ヒバクシャ国際署名を進める北海道民の会として1月4日～1月11日エルプラザ2F交流スペースにて、「核兵器のない世界に向けてジャンプアップ！被爆75年初春展」開催しました。年明け早々の企画にかかわらず、550名の来場がありました。

署名も162筆のご協力を頂きました。

被爆者の運動でお付き合いのある方々のほか、まったく初めてと思われる学生・青年も目立ちました。来場者の心に強い印象を残したことと思います。

今後、2020年NPT再検討会議にむけ、署名をもう一回り底上げする上での機会となりました。



福祉問題を総合的に考える委員会開催報告

1月16日、第28回福祉問題を総合的に考える委員会が、こくみん共済coop会館5階会議室で開催されました。当委員会は、今回の開催で第28回を迎え、活動6年目に入ります。スタート当初の参加団体は、8会員生協・3福祉団体・2大学 計13団体でした、現在は、6会員生協・7福祉団体・1大学 計14団体となり、道連会員以外の福祉団体関係が増えてきているのが特徴です。

「高齢者と子供たちの安心して元気な生活の実現」を目指し、取組テーマとして「居場所づくり」を掲げ、こども食堂・高齢者運動（まる元・ゆる元）・ちよこつと茶屋・認知症問題等を推進して来しました。

福祉問題を巡る、いくつかの状況変化①2020年3月に、協同組合ネット北海道が誕生します。（以下ネット北海道）ネット北海道は、その取組重点課題として、地域コミュニティーの再生、「居場所づくり」

を掲げています。②厚生省は、生活支援総合事業の担い手として協同組合を位置づけ、「認知症」の取組み位置づけとして予防に関する政策大綱を発表しました。③全国的に、行政のこども食堂への係りが進んできていますが、昨年12月札幌市未来局は、2020年度こども食堂への助成金を、一団体10万円を目処として予算化する事を発表しました。

2020年度改革方向と取組み課題、経験交流から始まった活動取組は、継続することで各組織の福祉をめぐる状況認識が深まり、ネットワークが強化され社会的評価も得られつつあります。2020年度は、居場所づくり・協同組合ネット北海道との関係など政策論議を中心に三ヶ月に一度年間4回の運営サイクルに改めることが提起され、最後に次会日程が確認され会議は終了しました。